

人文学部卒業研究

題 目 ケータイへの愛着と依存の関係

指導教授 山本 明 印

提出年月日 2018年 12月 13日

学籍番号 HI15050

氏 名 服部 翔太

ケータイへの愛着と依存の関係

HI15050 服部翔太

要旨

今日普及しているスマートフォンの機能には SNS やゲームがある。最近話題となっている「スマホ依存」の背後には「ゲーム依存」、「SNS 依存」とケータイそのものに関する依存があると考えられる。本研究では依存という心理的要因と似ているであろうと考えられる「愛着」に着目した。愛着があるから依存するのか、愛着と依存は別なものなのかを明らかにしていくのも 1 つの目的である。「愛着」という心理的要因は「モノ」に対することと「ヒト」に対する二種類があった。本研究ではケータイという「モノ」に対する愛着と依存とに類似点があるかどうかを考えていく。第 1 章では愛着について述べている。元々、愛着とは何かということから始まる。愛着の対象になりやすいものにどのようなものがあるか、愛着における自己投影に関することを述べている。第 2 章では依存に関することを述べている。依存とは何か？依存しやすいものは何か？依存が招いた事故や事件があることを述べている。第 3 章では質問紙調査の結果を述べている。質問紙の一部に渡邊・水野・土田・林・皆月（2015）の調査項目を用い、2015 年から 2018 年の 3 年間でどのような違いがあるかを見比べる。調査の内容としては愛着を抱きやすいもの、依存しやすいもの、ケータイに関する愛着と依存について、自身の使っているケータイに関する項目を設けている。そして調査の結果からケータイの使用用途や依存しやすい物、愛着を抱きやすい物の違いを述べている。第 4 節は考察部分であり 3 節から得られた結果を基に考察をしている。愛着を抱きやすい物、依存しやすい物についてなぜ男性がこのようなものに愛着を抱きやすいか、なぜ依存しやすいか。なぜ女性はこのようなものに愛着を抱きやすいか、なぜ依存しやすいかを考察した。終章では本研究の反省、今後の展望を述べている。

キーワード

SNS 依存

ケータイ

愛着

依存

目次

序論.....	1
第1節 本論文の目的と意義.....	1
第2節 本論文について.....	2
第1章 先行研究の概観.....	2
第1節 愛着とは.....	2
第2節 愛着の対象.....	3
第2章 ケータイと依存の関係.....	3
第1節 依存とは.....	3
第2節 ケータイによるSNS依存.....	4
第3節 ソーシャルゲームによる依存.....	5
第3章 質問紙調査.....	7
第1節 目的.....	7
第2節 方法.....	7
第3節 結果.....	8
第1項 概要.....	8
第2項 性別による違い.....	20
第3項 愛着と依存の関連.....	23
第4節 考察.....	25
終論 結論.....	28
<参考文献・参考サイト>.....	28
付録.....	i